

経営比較分析表（平成30年度決算）

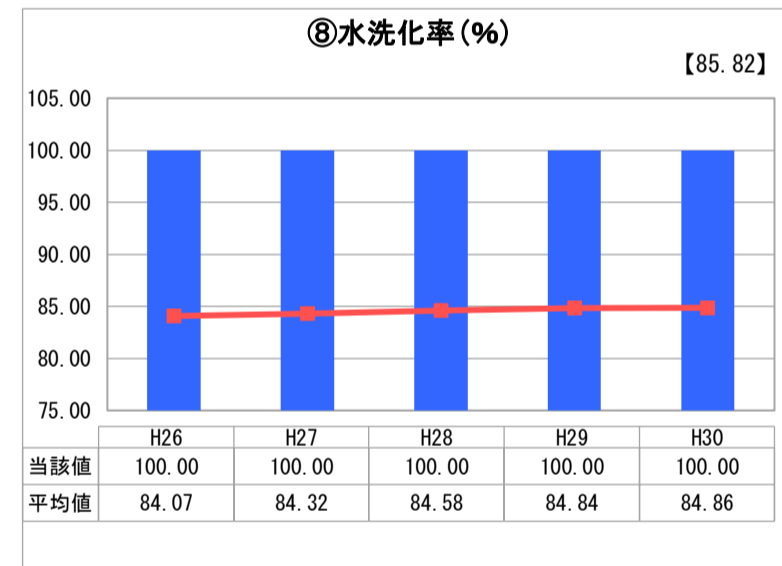
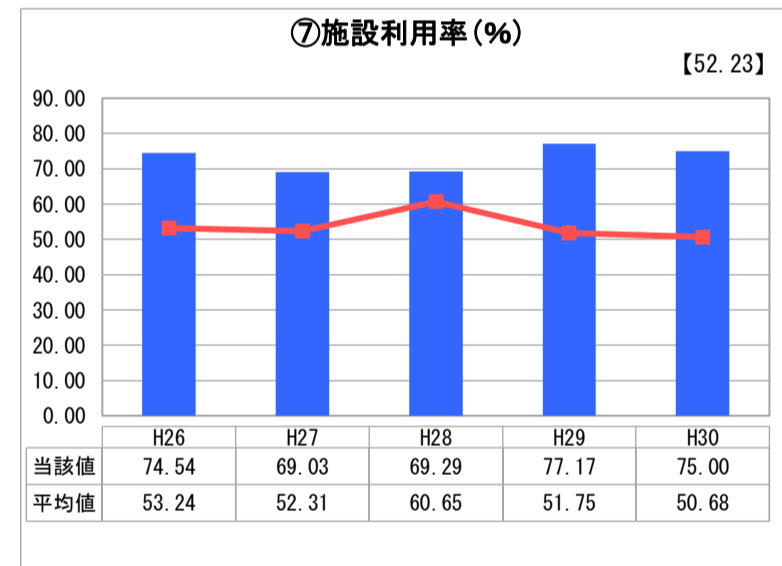
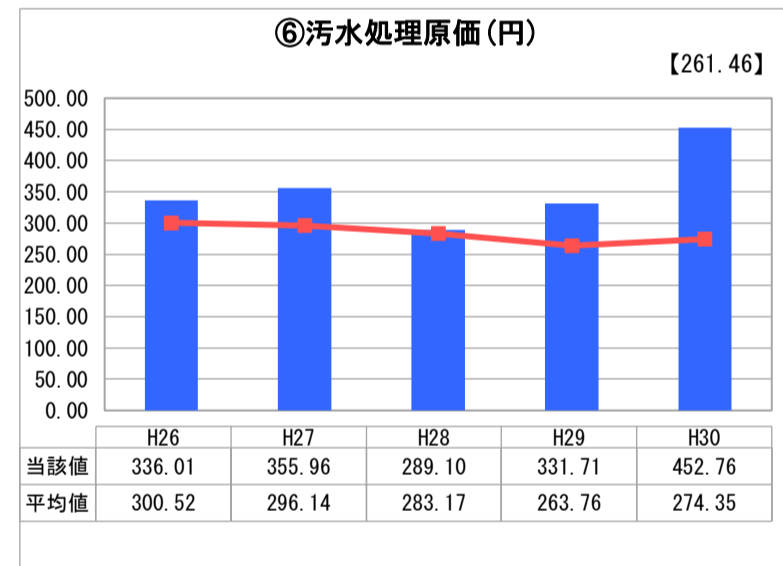
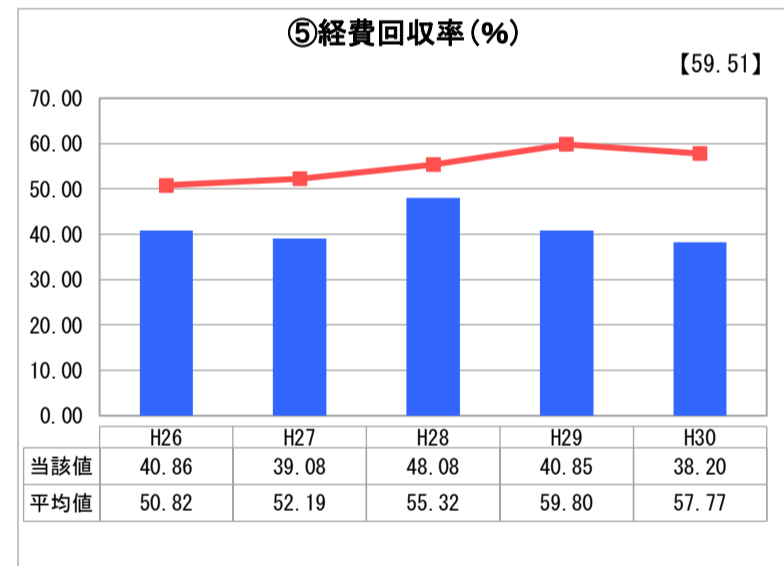
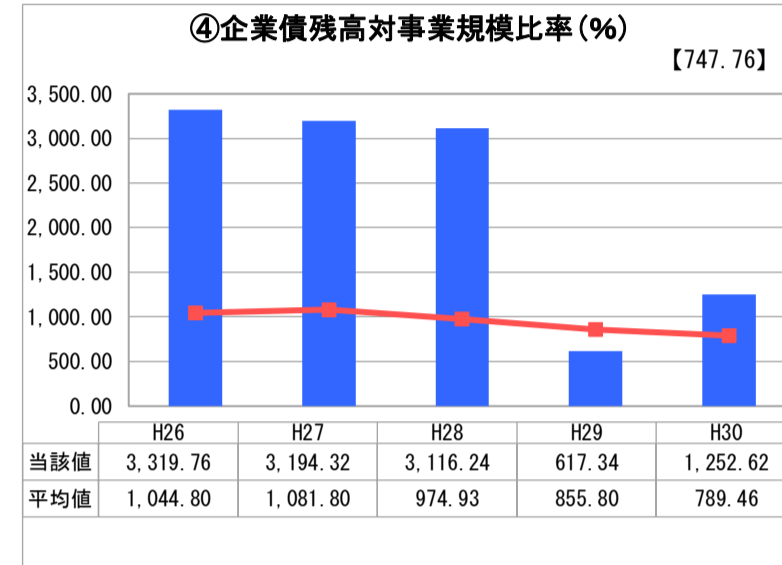
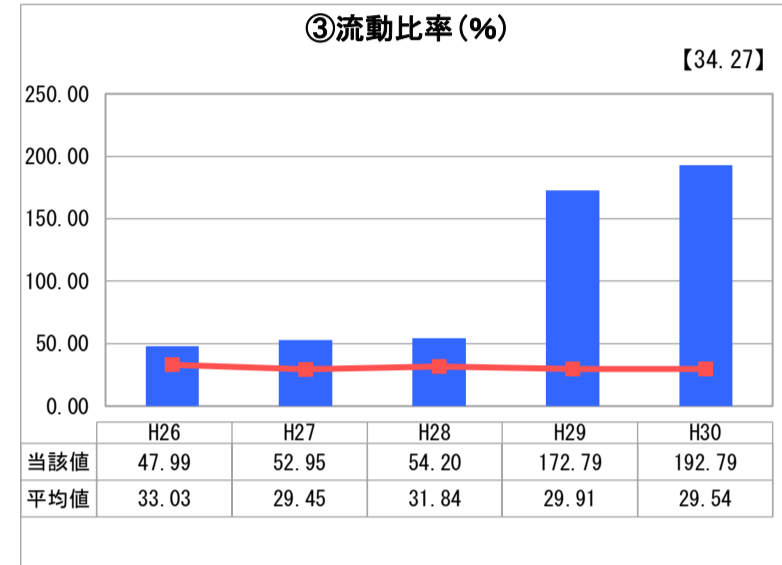
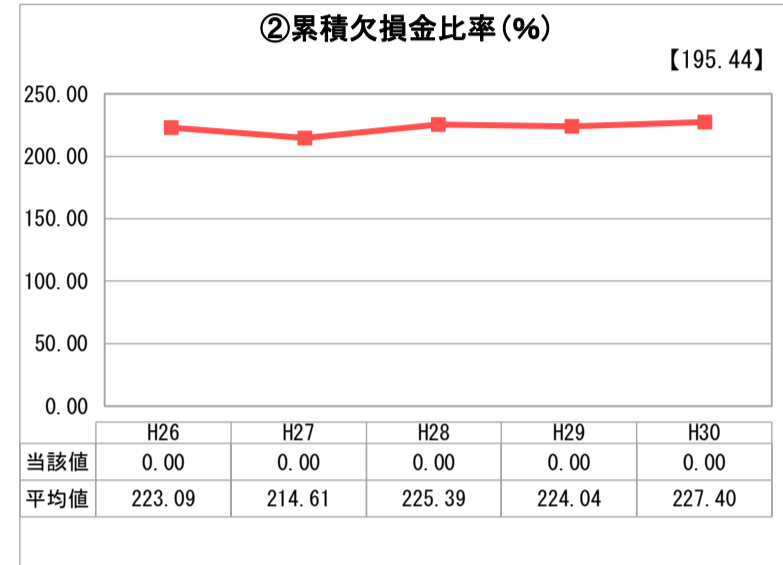
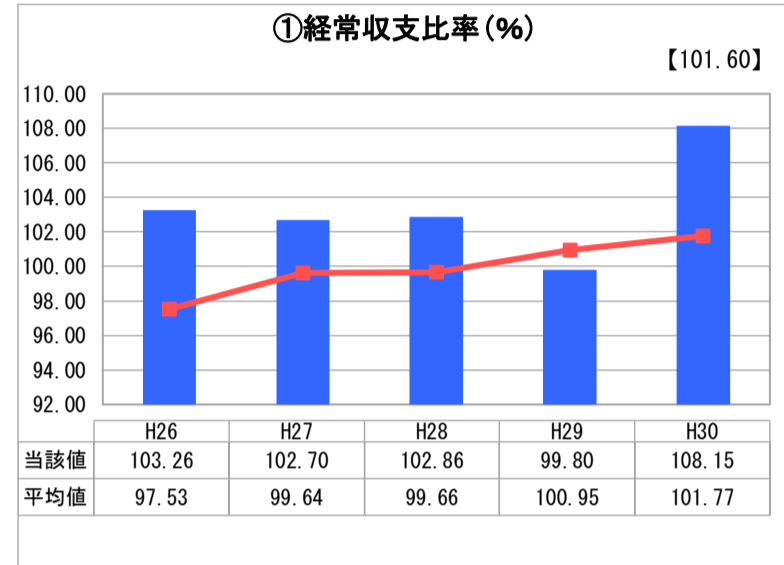
福井県 あわら市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.04	0.82	100.00	4,784

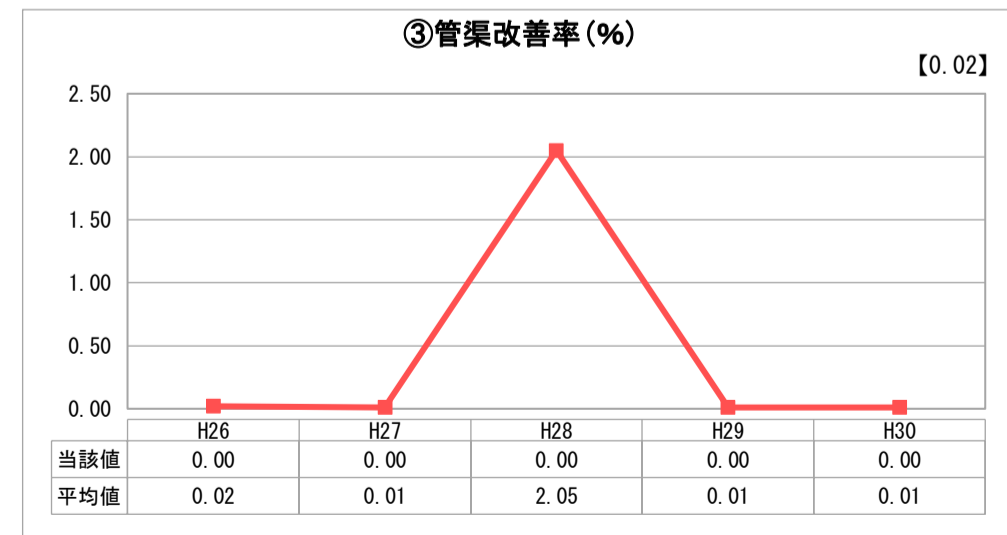
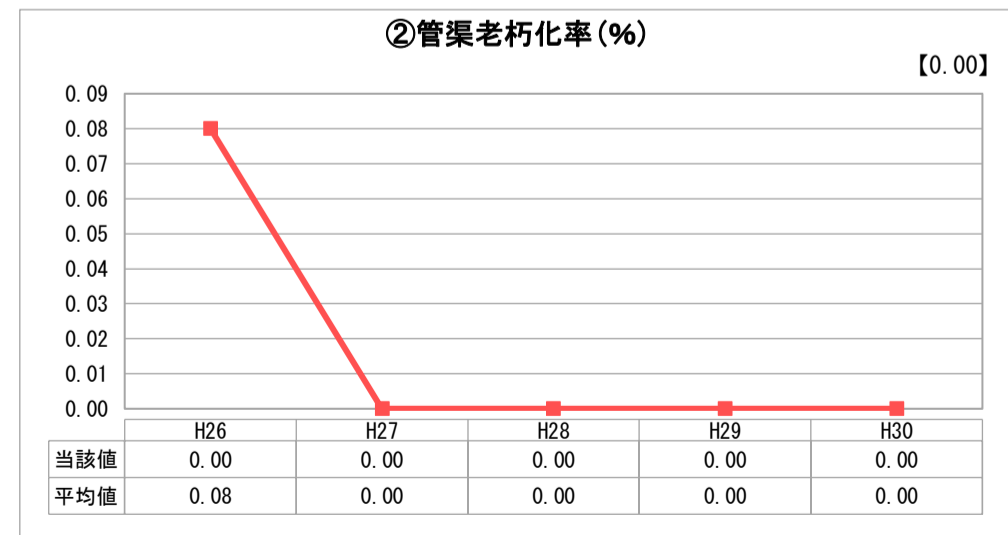
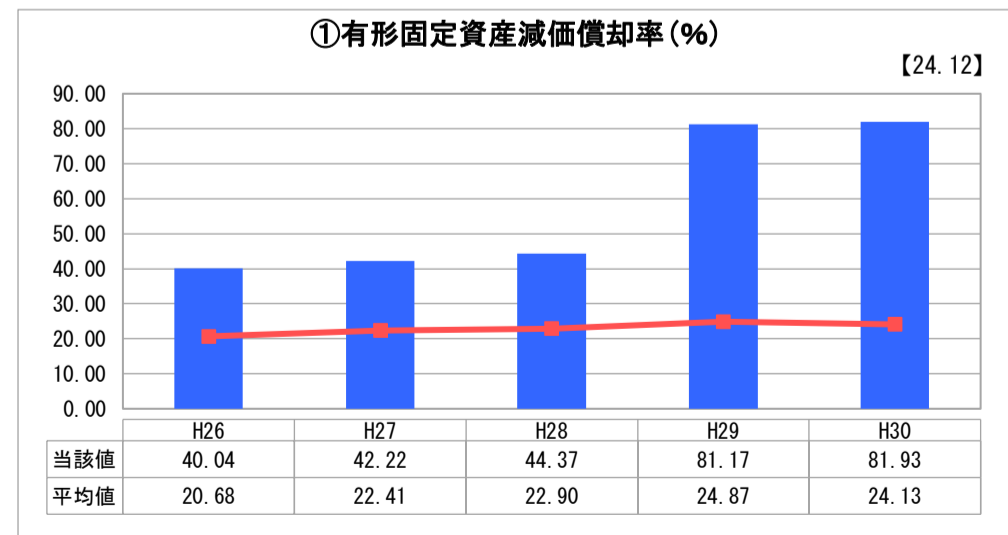
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,263	116.98	241.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
231	0.10	2,310.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を超えているが、一般会計から赤字補てん分の補助金を繰り入れているためである。
- ② 累積欠損金は、発生していない。
- ③ 流動比率は、施設の廃止に伴い流動負債が減少したため、比率が高くなっている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、施設廃止に伴い、残高が減少したため、比率変動が大きくなっている。
- ⑤ 経費回収率は毎年大きく変わらず、不足分を一般会計からの補助金で賄っている。
- ⑥ 汚水処理原価が類似団体と比較すると高くなっている要因は、処理場等の維持管理費が高くなっているためである。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体と比較すると高く推移している。
- ⑧ 水洗化率は、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率が類似団体と比較すると大きくなっているのは、施設の経年が進んでいるためである。
- ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠が無い場合、発生していない。
- ③ 管渠改善率は、法定耐用年数を超えた管渠が無い場合、発生していない。

全体総括

機械設備等の大規模改修を考慮し、平成29年度から30年度にかけて公共下水道との施設統合をし、各種数値が大きく変動している。平成30年度末をもって農業集落排水事業を廃止し、公共下水道に統合し、経費削減など合理化を行った。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。